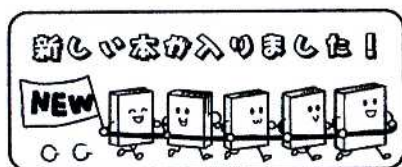


クローバー 9月号

朝晩過ごしやすくなりました。

「灯火親し」は、俳句の秋の季語です。秋の夜長、たまにはテレビを消して静かに落ち着いて、本を読んでみませんか。



- ・『ケーキ職人・辻口博啓の生き方』 輔者 心著
- ・『ありがとう私のいのち』 星野富弘著
- ・『高校デビュー』 下川香苗著
- ・『小さな命の伝言』 アグネスチャン著
- ・『木のいのち』 立松和平著
- ・『ぼくのおばあちゃん』 なかむらみつる著
- ・『四十九日のレシピ』 伊吹有喜著
- ・『ちょんまげぷりん』 荒木 源著 など多数

今月のテーマ

動物の身になって



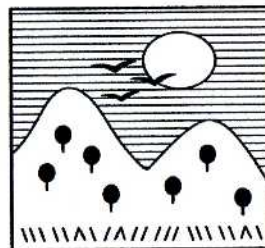
動物愛護週間

9月20日から26日は動物愛護週間です。犬や猫などのペットは人の心をいやしてくれます。でも動物たちはしあわせでしょうか？これらの本は、最後まで責任を持って動物を飼うことの大切さを教えてくれます。

- ・『犬たちをおくる日』 今西乃子著
- ・『傷つけられる動物たち』 マイルス・バートン文

《今月の調べ学習》

1年生が、三瓶宿泊研修に向けて三瓶山に関することを調べました。三瓶山の自然、観光地、埋没林、夏秋の星座、石見銀山などについての本を浜田市立図書館で借りて資料にしました。観光パンフレットも良い資料になりました。



石見の方言

はしる

思わず指をつめたり、擦ったりした時のように、ぴりぴりっと瞬間的に痛いときに使います。



例えば、走ってまかれて（転んで）、擦りむいたところを水で流す時など。

「歯がはしる」もよく使っていました。